たばこは町内の
たばこ屋さんで
買いましょう

広報 ちょうなん

No. 55
昭和45年8月15日発行

発行所
長生郡長南町長南 2,480
TEL 長南(0475206) 4.44.121〜125
印刷(株)さくら印刷

町の状況
世帯 2,625 世帯
人口 12,226 人
面積 65.54平方キロ

突如襲った水の恐怖
被害総額七億八千万円に

去る七月一日の集中豪雨により町内各地に甚大な災害をこうむったが、その主な原因は短時間の豪雨、まるで滝の落ちるように分厚い雨が降り、特に一二時から一三時三〇分の間に一〇〇ミリ、八時から一三時三〇分までに二五五ミリを記録した。本町は、山林、河川、道路、耕地が入り組んだ地勢で、岩盤の上に表土がある土質の悪条件に加えて、七月一日以前の長雨による影響を受け各地に土砂の崩落、浸水を中心に災害が発生した。

その被害状況は死者一名、住家の全壊四戸、半壊一三戸、一部破損三四戸、非住家の全壊一八戸、半壊二一戸、一部破損二五戸、床上浸水三六戸、床下浸水一六六戸、農地の流失埋没二四ヘクタール、冠水八六〇ヘクタール、道路の決壊一三五ヵ所、橋梁流失一四ヵ所、河川の決壊七一ヵ所、農業施設災害二七ヵ所、山くずれ一、二八〇ヵ所、三ヵ年計画でようやく完成の簡易水道も本管のみで二五ヵ所切断された。教育施設については山くずれにより、中学校の工作室が半壊使用不能となりました。

有線放送施設についても、一〇回線が故障を生じる等の被害を受け、被害総額は概算で七億八千万円と推計され、未曾有の大被害をもたらしその状況はきわめて深刻なものがあります。

復旧と今後の計画

町内随所に土砂くずれあるいは決壊、橋梁流失等により道路は寸断され通行不能ヵ所が続出したが、町内業者の所有する機械力を借上げ、また町民の協力を得て排土作業、仮橋の架設等応急復旧工事を進め、現在は主要町道の殆んどが通行可能となった。しかし、農道の復旧作業は遅々として進まず秋の収獲期を間近かに控えているため炎天下もいとわず懸命に復旧作業に従事している。

今後の復旧計画としては、町災害復旧本部を中心に、町民の協力を得ながら、今回の災害復旧のため町で購入したショベルカーおよびダンプカーをフル運転し応急復旧を進めると共に災害復旧の緊急査定分については、県の出先機関である土木、土地改良事務所の職員の応援を願い昼夜を問わず設計事務に専念、なお復旧計画に当っては、再災害予防を図るため改良復旧を行ない、また早期復旧に全力を注いでおります。

橋のたもとが大きくえぐられ損壊した三川橋

決壊して通行不能になった道路(市野々地区で)

土砂流失により埋没した農地(山内地区で)

復旧に町民の特段の協力を

町長 今井 衛

去る七月一日の集中豪雨による被害はまことに惨胆たるもので、一名の犠牲者をはじめ合併以来一五年間営々として建設整備してまいりました道路、河川、橋梁、文教施設等の公共施設はもとより、多くの家財、農業用施設、農地、山林等その被害総額は概算で、七億八千万円と推計され、その内訳は次に示すとおりであります。なおこれは本町における四十四年度決算額のおおむね二ヵ年分に相当する額でありまして、このような莫大なしかも貴重な財産が一瞬にして奪い去られたことを思う時、今更ながら自然の猛威の恐ろしさと、これが防備に対する不断の努力の必要性を痛感いたした次第であります。

なおこの復旧にあたって今後町民の皆様方には何かと御迷惑をおかけするとともに、さらに特段の御協力をお願いしなければならないと存じております。

私も町長就任早々この大災害に遭遇いたしましたが、これは新参町長の私に与えられた一大試練であることを深く認識いたし、全精力を傾注してこの復旧に努め、この時こそ昔からのことわざのとおり「災い転じて福となる」たとえを実現させなければならないと強い決意を抱いております。特に今回の災害にあたっては、町議会においても、早速議会内に災害対策特別委員会、続いて災害復旧特別委員会を設置され全面的な御支援、御協力をいただいておりますし、さらに、国、県御当局をはじめ国会、県会の諸先生方の格別な御配慮により復旧に伴う各種の制度適用等についても極めて明るい見通しの上に立っておりますことはまことに心強い次第でございます。ことに全国各地から寄せられたお金や救援の品々は相当数に上っておりまして、これら御厚志に対しましてはまことに感謝に堪えないところであります。この上は町民一同と強く立ち上り、一日も早く復旧に努め町の発展に努力する所存でございますので重ねて今後の御協力をお願いいたし災害報告といたします。

被害総額まとまる

七月二十五日現在の被害総額は次のとおり

区分	被害額(万円)
公共文教施設	五三〇
農林水産業施設	一五、一五〇
公共土木施設	一五、四六〇
その他の公共施設	一〇〇
小計	三一、二四〇
農産被害	一九、〇〇〇
林産被害	一一、〇〇〇
畜産被害	五〇〇
水産被害	二五〇
商工被害	一五〇
小計	三〇、九〇〇
その他の被害	一五、八六〇
被害総額	七八、〇〇〇

主な災害関係メモ

七月一日○午前九時町災害対策本部設置
○水害危険個所の巡視及び救助活動に入る。
○町民に厳重な警戒と災害防止に万全を期するよう呼びかける。

七月二日○災害調査
役場職員八班編成により町内全域の被害調査と被害写真の撮影。
○浸水家屋にはクレゾール液、冠水井戸にはオーヤラックスを配布消毒。

七月三日○町議会議員協議会開催、災害対策特別委員会設置される。

七月四日○被災者に対し見舞金を支給する。

七月七日○区長会開催
災害現地巡回後、応急復旧について地元の協力を依頼する。
○助役、町議会災害対策委員長、県議会議長及び各部長に被害状況報告復旧について陳情

七月十日○町議会議員協議会開催。被害現地巡回後、その後の経過と対策について協議。

七月十五日○町議会災害対策特別委員、国会、関係省庁へ陳情。町長、議長、鈴木(一)委員長一行十一人国会、厚生省、建設省、農林省、関東農政局を訪れ本町の実情を訴えました。

七月十七日○災害対策本部を解散直ちに災害復旧本部を設置。

応急復旧工事の進捗状況

七月三十日現在応急復旧工事の進捗状況は次のとおりである。

施設の区分		被害ヵ所	応急復旧数	復旧率	国庫補助予定数
公共土木施設	道路	54	49	91%	35
	橋梁	14	11	79	4
	河川	71	0	0	16
農業施設	道路	81	32	40	22
	農地	24ha	0	0	5.09ha
	その他	57	17	30	33
水道施設	本管	25	25	100	
通信施設	有線	10回線	10	100	
教育施設	学校	4	3	75	1
	その他	1	1	100	

災害復旧第一次査定終る

去る七月一日の集中豪雨被害の第一次(緊急)査定が、農林省災害七月三十日、建設省災害七月三十一日にそれぞれ行なわれ査定状況は次のとおりです。

なお、補助率は農林省災害の農業用施設六五%、農地五〇%、建設省災害は三分の二の予定です。

◎農林省災害関係

区分	申請額	査定額
1 農業用施設	千円	千円
橋梁2ヵ所	1,871	1,871
道路3ヵ所	1,283	~~1,251~~
水路2ヵ所	742	742
小計	3,896	3,828
2 農地 水田0.46ha (3ヵ所)	1,148	1,126
合計	5,044	4,954

◎建設省災害関係

区分	申請額	査定額
道路3ヵ所	7,507千円	5,346千円
橋梁2ヵ所	7,953	7,411
河川		
合計	15,460	12,757

◎建設省災害については、道路三五ヵ所二千三百万円、橋梁四ヵ所一千万円、河川一六ヵ所二億九千五百万円、農林省災害については、施設五二ヵ所、農地四〇ヵ所(設計中にて額不明)申請する予定である。(二次査定は八月下旬の予定)

建設大臣被害状況視察に来町

根本建設大臣は、七月八日午後二時半被害状況視察のため町中央公民館に立寄られた。

今井町長が本町の被害状況について説明、局部激じん災害地指定を受けたいと懸命に陳情、続いて吉野茂原市長が郡内の被害状況について説明、郡を代表して、近藤一宮町長が河川の抜本的改修さらに河口のだ行改修等について陳情した。

大臣は「死者の出たことを遺憾に思う。先ず御見舞申上げたい。災害回復は原状復旧では、また同じことが繰返されるだけで、意味がない。県とよく相談して、抜本的対策を講じてもらいたい。河川敷拡張などに当っては、土地、家屋など私権の主張が障害になることが多いが、百年の計のため努力してほしい。川の周辺の土地を減らさないような抜本的対策は無理だ。

局部激じん災害地指定は個々の市町村の被害の査定をして決めるが、その作業は県とも相談して七月末から始めるつもりだ。速やかな復旧に努力する。」と述べ二十分後に県庁に向った。

陳情にこたえる　根本建設大臣

知事も来町

友納知事は七月四日午前七時四十分被害状況視察のため町役場に来庁し、被害状況を聞き、被災農地に休耕程度の三年間無利子貸付け、被災農地に小規模土地改良事業の適用、湿地ブルの町村貸与等を考え、なお災害査定を早期に実施し一日も早く復旧するよう努力する旨述べられた。

以下災害視察のため来町した者次のとおり

七月四日　国会災害対策特別委員（渡辺一太郎委員長一行　五人）

七月六日　県議会社会衛生常任委員（池田博委員長一行八人）

七月七日　県農業会議委員（木島義夫会長一行十五人）

集中豪雨被害者に税の減免

七月二四日開催された第五回町議会臨時会において、七月一日の大雨災害による被害者に対する町税の減免に関する条例が制定され七月三十日公布施行されました。その内容は次のとおりです。

一、適用税目

1　昭和四十五年度町民税及び固定資産税

町民税については八月以後の納期に係る税額、固定資産税については七月以後の納期に係る税額におのおの次に示した率を乗じて得た額を軽減し又は免除することになります。

二、町民税

(一)　納税義務者が死亡した場合　十割

(二)　この災害が原因で生活保護法による生活扶助を受けることとなった場合　十割

(三)　この災害が原因で障害者となった場合　九割

2　納税義務者又はその者の控除対象配偶者並びに扶養親族の所有に係る住宅又は家財につき損害を受けた金額から補てんされるべき金額を除いた金額がその住宅又は家財の価額の十分の三以上である納税義務者で前年の所得金額が二百万円以下であるものに対しては次の区分により判定します。

合計所得金額＼財産に係る被害率	十分の三以上十分の五未満のとき	十分の五以上のとき
百万円以下であるとき	二分の一	二分の二
百五十万円以下であるとき	四分の一	二分の一
百五十万円をこえるとき	八分の一	四分の一

三、固定資産税

1　土地に係るもの

農地又は宅地が災害による流失、水没又は崩壊等の原因により作付不能又は使用不能となった場合次により判定します。

(一)　被害面積がその土地の面積の十分の八以上であるとき　十割

(二)　被害面積がその土地の面積の十分の六以上十分の八未満であるとき　八割

(三)　被害面積がその土地の面積の十分の四以上十分の六未満であるとき　六割

(四)　被害面積がその土地の面積の十分の二以上十分の四未満であるとき　四割

2　家屋に係るもの

災害を受けた家屋については次により判定します。

(一)　全壊、流失、埋没等により家屋としての原形がないとき又は復旧不能のとき　十割

(二)　山くずれ、土砂流入等により、主要構造部分が著しく損傷し大修理を必要とする場合で当該家屋の価額の十分の六以上の価値を減じたと認められるとき　八割

(三)　軒下浸水等により損傷を受け居住又は使用目的を著しく損じた場合当該家屋の価額の十分の四以上十分の六未満の価値を減じたと認められるとき　六割

(四)　下壁、畳等に損傷を受け居住又は使用目的を損じ、修理又は取替を要する場合で当該家屋の価額の十分の二以上十分の四未満の価値を減じたと認められるとき　四割

3　償却資産に係るもの

家屋の例に準じ判定される。

四、減免の申請について

個々の被害状況等の把握を致しておりますので状況が判明しだい該当者には関係機関を通じて申請書を送付いたします。

なお、不明な点は役場管理課税務係へお問合せください。

（有線　二二〇一一）

農業委員改選される

去る七月二十八日をもって任期満了になりました農業委員会委員が次のとおり改選されました。移り変わる農政のもとに今後三年間、農業者の真の利益代表機関として、御活躍がおおいに期待されます。

なお、八月六日の初会議において会長に相敏雄氏、副会長に仁茂田三郎氏が選任されました。

氏名	備考
土屋新太郎	公選
加藤隆司	公選
今井秀雄	公選
伊坂茂夫	公選
松野孝俊	公選
城風良平	公選
墨田内近	公選
鈴木正勝	公選
林　通布	公選
石井勘衛	公選
小柴孝吉	公選
相　敏雄	農協推せん
岩佐治郎左衛門	共済推せん
江沢良一	議会推せん
仁茂田三郎	議会推せん
花崎　清	議会推せん

町営住宅完成

長南滝之内地先（熊野神社先）に去る七月十五日に第二種町営住宅一〇戸が完成しました。

総工費一千六五五万四千円を投入し町発展の礎に努力しております。四十五年度も引続き一〇戸の建設を予定しています。

なお、この建設資金の一部として、郵政省簡易保険局の「簡易生命保険積立金」から、二百五十万円を融資され施行しております。

完成した町営住宅

今年は国勢調査の年
調査は十月一日
御協力下さい

町道整備用機械購入

町では災害による道路復旧整備を図るため、去る七月十五日タイヤーショベルとダンプカーを購入毎日復旧作業にあたっています。タイヤーショベルは大型四輪駆動式で、全長五m、幅二m、ダンプカーは二t積のダブルタイヤーです。

利用は申込みによって、貸付けすることになっていますが、道路幅三m以上なければ作業できません。利用申込みは開発課に（有線　二二四一一）

復旧作業に活躍する機械

水害見舞ぞくぞくと

七月一日の災害に際し、全国からの援護金（県から配分）八八万一千円、友納知事から一〇万円、日本赤十字社から毛布八六枚、日用品セット三〇組他、県から毛布五〇枚、衣類七五包他、川崎製鉄株式会社から亜鉛鉄板一・二五一トン、肌着一〇〇枚、マッチ五〇〇個他、第一寝具から布団七〇枚等災害見舞金、見舞品が多数寄せられました。紙上より深く感謝申し上げます。

◎見舞金を寄せられた方は次のとおりです。（敬称略）

日本赤十字社
千葉県町村会
千葉県共同募金会
衆議院議員　千葉三郎
衆議院議員　森美秀
参議院議員　菅野儀作
参議院議員　渡辺一太郎
参議院議員　長田裕二
県議会議員　土屋優
郡町村会長　酒井茂
東京都鋳物工業協同組合
阿部建設株式会社
吉沢水道コンサルタント
長南　田中山三郎
茂原市　こまつ
桜ゴムKK社長中村健二郎
長南　今井長山
茂原農高校長　岩田保雄

◎見舞品を寄せられた方は次のとおりです。（敬称略）

日立精機株式会社
明治薬品株式会社
中外製薬株式会社
銚子市神明小青少年赤十字団
長南精機KK　土屋菊司
菱和コンクリート株式会社
一宮町野菜出荷組合
合同資源株式会社
毎日新聞　三十尾新聞店
千葉県農業開発公社
日本勧業銀行千葉支店
千葉興業銀行
千葉鉱発株式会社
エタニット建設株式会社
長南　島崎良治

警察官募集

県警では警察官を
募集しています
くわしくは最寄りの
駐在所に
おたずねください

試験日　昭和45年8月30日